

糖尿病教室だより



妊娠糖尿病とは・・・

妊娠中にはじめて発見された糖の異常を「妊娠糖尿病」といいます。妊娠すると胎盤から出るホルモン(インスリン拮抗ホルモン)などがインスリンの働きを悪くします。また、胎盤そのものもインスリンを壊す酵素を作っているため妊娠中は誰でも血糖値が上がりやすくなります。

安心して赤ちゃんを出産するために一緒に学んでいきましょう。

妊娠糖尿病になりやすい方

- ・家族に糖尿病の人がいる(特に父母または祖父母)
- ・太っている人(BMI 25以上)
- ・高齢出産の人(35歳以上)
- ・大きな赤ちゃんを出産したことのある人
- ・流産、早産、死産歴のある人



血糖値が高いとどんな問題があるの？

お母さんへの影響

- 羊水過多症
- 流産・早産
- 妊娠高血圧症候群
- 尿路感染症 など



赤ちゃんへの影響

胎児期

- 先天奇形
- 巨大児
- 子宮内胎児死亡

新生児期

- 低血糖
- 高ビリルビン血症
- 呼吸障害 など

小児期・思春期

- 肥満
- 糖尿病

赤ちゃんの将来にも関わってきます！

診断と治療方法

妊娠初期と中期(24～28週)に血液検査を行い血糖値を測定します。随時血糖値が100mg/dL以上の場合、75gブドウ糖負荷試験を行い、1つでも基準値を超えていたら妊娠糖尿病と診断されます。診断後は内科医師の診察を受け食事管理・運動療法その他、自分で血糖測定を行うこともあります。これらを行っても血糖値が高い場合はインスリン注射を導入することもあります。



妊娠中の目標血糖値

<血糖値>

- ・空腹時95mg/dL未満
- ・食後1時間値140mg/dL未満・食後2時間120mg/dL未満

<HbA1c : ヘモグロピンエーワンシー>

- ・6.0～6.5%未満

引用・参考 2024年4月 さかえ

「妊娠と糖尿病」についてよく理解しましょう:LifeScan Japan株式会社

出産後も注意！

妊娠糖尿病では、将来お母さんが高率に2型糖尿病に進展することが知られています。出産後も日頃から糖尿病を予防する生活を心がけましょう。

